

信州うえだ発「がんばろう日本」応援宣言

～ 信州うえだ からエールを送り、被災地を応援します。～

東日本大震災・長野県北部地震などにより、多くの方が被災され今もなお日本中が震災の影響を受けています。今、日本中が一つになり被災された皆さんに対して何をしなければいけないのか、何ができるのかを考え、復興に向け取り組んでいます。

信州うえだは、地域の特色を発揮して、被災地や影響を受けられた皆さんを応援することを宣言します。

1 『水清き自然豊かで、快適な生活をおくることができる地域です。』

信州うえだは、少雨乾燥地域で晴天率が高く自然が豊かで過ごしやすい環境にあります。また、日本一の大河となる千曲川が市の中央を流れ地域を潤しています。さらに神川の上流の湧水は口当たりがまるやかで「うえだの湧水」と名づけブランド化しています。

また、夏の夜は湿度が低く涼しく過ごせます。特に、菅平高原は夏の平均気温が 19.6 度と東京の 5 月の気候に近く、スイスを思わせる風景から避暑地として最適です。さらに、市内には心身ともにストレス緩和効果の高い別所温泉や鹿教湯温泉などがあり、避暑地・保養地として皆さんが快適に過ごすことができる地域です。

信州うえだは、被災地からの避難先としての受入体制も十分に整っており、一人でも多くの方の生活再建を応援します。

2 『地震の影響が少なく、産業に適した地域です。』

信州うえだは、活動する可能性のある断層がなく地震の影響が少ない地域です。長野新幹線に乗れば、東京から最短で約 70 分、上信越自動車道を利用すれば首都圏から約 2 時間 30 分で訪れることができ、企業立地や首都圏からの通勤圏として交通の利便性が高い地域です。

工業は、製糸業で培われた進取の気性に富んだ起業家精神と共に幅広い業種に対応できる高度なものづくり基盤技術産業が多数集積し、自動車・圧力機器関連部品・精密小型モーター部品、測定器、ミシン針などの設計・加工・製造の高機能部品等が多く、研究・技術開発に積極的に取り組む企業が集積している地域です。

特に、市内には、全国で唯一繊維学部を有する信州大学があり、そこでは産業分野に応用範囲が広く、世界最高水準であるファイバー工学を基軸とした知の拠点と地域産業の融合の産学官連携による研究開発活動が盛んに行われている先進地であります。

地域の自然特性、ものづくり基盤技術産業の集積及び産学官連携の強みにより、産業支援体制が充実していることから企業立地には、最適な環境にある地域です。

農業では、一日の寒暖の格差があること等変化に富んだ気候条件と首都圏に近いという立地条件を生かして、主要農産物の米をはじめ、リンゴやブドウを主体とした甘くて美味しい果樹、色鮮やかなスターチス、トルコギキョウ、リンドウなどの花卉、標高の高いところでは、新鮮なレタスなどの高原野菜がつくられており、多様な農産物の産地であります。また、農業振興を図るため、市、JA、など農業関係機関が一体となった「農業支援センター」が組織されており、農業者の皆さんの営農支援体制も整っております。

信州うへだは、農業や企業には最適な地域であり就農や工場移設、起業したい皆さんを応援します。

3 『「おもてなしの心」で多くの人をお迎えする地域です。』

信州うへだは、菅平高原や美ヶ原高原の四季折々の豊かな自然、別所や鹿教湯などの閑静な温泉保養地、国宝安楽寺八角三重塔に代表される「信州の鎌倉」と呼ばれる塩田平や真田氏ゆかりの上田城跡など歴史的文化遺産が数多くあります。また、棚田やため池が創り出す風光明媚な農村風景、夏・冬を通して活動が可能なスポーツエリアや豊かな文化的環境を備えた信州国際音楽村などがあり、多彩な観光資源が集積した地域です。

信州うへだは、魅力的な観光地がたくさんあり「おもてなしの心」で皆さんをお待ちしております。

この未曾有の大災害を乗り越えるため、信州うへだが被災地の皆さんはもとより日本中の皆さんが元気が出るよう一生懸命応援します。

平成23年5月24日

上田市	市長	母袋 創一
上田商工会議所	会長	宮下 茂
上田市商工会	会長	笹沢 暁
上田市真田町商工会	会長	小林 豊明
信州うへだ農業協同組合	代表理事組合長	芳坂 栄一